



◆ たちばな支援学校「高校生ボランティア養成講座」に耐久生11名が参加！

「障害」や「支援」について学び、行動に移すための高校生を対象としたボランティア養成講座（第1回：7月6日 第2回：8月3日 第3回：9月8日）が開催され、11名の生徒が参加しています。開講式と講義に参加した生徒の感想を紹介します。



〇私も一人で生きているわけではないし、周りから助けられていることはたくさんあるので、もし助けが必要な人や困っている人を見かけたら、積極的に助けたい

と思いました。今日の講座では助け合いの大切さを知ることができ、とても良い経験になりました。
〇国民の6.7%に障害があるという事実を知りました。障害とは身体や知的、精神など外見だけでは分からないこともあるので、人と関わる時には、理解しようという気持ちや仲良くなりたいという気持ちをもつことが大切だと思いました。
〇障害について学習することで“平等”より“公平”を重視する社会に魅力を感じました。共生社会であることが、私たちとの壁を壊し、障害のある方が自信と強さをもてるのだと思いました。この魅力に感化された自分は、これから手話について学ぼうと思いました。

◆ 夢の実現に向けて -2 学年-

◎「夏季マラソン学習会」自立した学習者に！

7月22日と23日の2日間で、合計約11時間に及び自学自習勉強会を実施しました。参加生徒は、黙々と自分がすべき課題に向き合い、いい表情で終えることができました。進路に向けて大切な高2の夏休みです。自分にできる最善を尽くして、勉強にクラブ活動にと汗を流してもらいたいと思います。

◎「夢ナビライブ2019」に参加！

7月24日、PTAの後援をいただき、大阪市で開催された全国175大学による合同説明会に参加しました。大学での講義を実際に体験したり、担当者から直接、各大学の教育内容や就職支援などについて説明を受けたりすることができ、生徒一人一人それぞれに、進路についての意識をさらに高めることができました。



◆ 軟式野球部 春季に続き、夏も準優勝！

耐久高校軟式野球部は7月20日から23日にわたって開催された、「第64回全国高等学校軟式野球選手権 和歌山大会」に出場しました。シード校である耐久は21日に新宮高校と対戦し、1-0で勝利。22日に行われるはずだった決勝戦は雨天のため順延となり、23日に、春季大会の優勝校である南部高校との決勝戦に臨みました。

春季大会の決勝戦と同カードの対戦ということで、『必ず雪辱を果たし、近畿大会への出場権を勝ち取る』という強い思いをもってチーム一丸となりプレーしましたが、やはり王者・南部高校は一枚上手。こちらは全力を出し尽くしましたが、得点には至らず、2-0で敗れ、準優勝となりました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。

3年生2名はこの大会で引退となります。もちろん悔しさはあるでしょうが、試合後はすがすがしい表情を浮かべていました。春の大会以上に相手と渡り合えたことは、自信と誇りになったことでしょう。3年間の部活動で身に付けたことを、今度は進路実現という形で発揮してもらいたいと思います。

これからは2年生、1年生が主体となつての部活動となります。新たなチームの目標はもちろん秋季大会の優勝。さらに勢いを増して練習に打ち込んでまいります。引き続きの応援よろしくお願ひいたします。

(軟式野球部監督 玉置将人 軟式野球部部長 田中 達)



◆ 全国高等学校総合文化祭 「紀の国わかやま総文2021」に向けて 令和元年度の取組がスタート！

2021年度の和歌山県で開催される第45回全国高等学校総合文化祭に向けて生徒企画委員が選ばれ、7月14日に県民文化会館で第1回生徒企画委員会が開かれました。



耐久高等学校からは、1年生の池永実優さん、増田凜さんの2名が選ばれました。全体会で、県内39名の生徒企画委員を代表して池永実優さんが、宣誓を行い「和歌山県の

高校生にしかできない全国高総文祭を実現できるよう、一人一人が精一杯努力します。」と決意を述べ、第1回委員会に臨みました。

